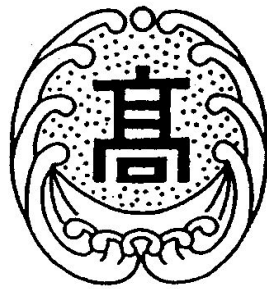


令和 2 年度

定期総会議案書



静岡県立浜名高等学校同窓会

令和2年度浜名高等学校同窓会定期総会 次第

1 会長挨拶

2 学校長挨拶

3 議 事

認 第 1 号 令和元年度事業報告

認 第 2 号 令和元年度一般会計収支決算

認 第 3 号 令和元年度基金会計収支決算

認 第 4 号 令和元年度財産目録

監報第1号 監査の結果報告

第1号議案 令和2年度事業計画

第2号議案 令和2年度一般会計収支予算

第3号議案 令和2年度基金会計収支予算

令和2年6月14日

浜名高等学校同窓会役員 各位

同窓会長 福田幹男

総会及び理事会の中止について

浜名高等学校の理事及び会員の皆様方には、日ごろから同窓会活動にご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

同窓会では、在校生が元気よく勉学及び部活動に専念できるよう、いろいろ助成しているものであります。令和元年度も運動部活動において全国大会、東海大会に出場、また文化部でも全国高文祭に参加するなど、めざましい活躍をしており、同窓会としても大変うれしく思っています。

さて、本年も総会開催の時期となりましたが、新型コロナウイルスの感染防止のための措置が、静岡県は解除されたとはいえ、まだまだ油断してはならない時期であります。学校においては、6月1日から正常授業に戻ったのですが、3密となるような状況は控えるよう要請もあります。

このため、5月29日に開催した正副会長会において検討した結果、本年度6月の総会は中止することといたしました。議案については正副会長会で了承されましたので、皆さま方に議案書を送付することでご了承に代えさせていただきます。

本来ならば、学校職員とともに役員の皆様方と親しく交じり合いたいものがありますが、時下の情勢から、やむを得ないこととご理解いただきますようお願い申し上げます。

なお、東京支部の総会も11月に延期となったことを申し添えます。

令和2年度同窓会総会に寄せて「同窓生の皆様へ」

浜名高等学校 校長 三科 真弓

同窓生の皆様には、日ごろから本校の教育活動に対しまして、格別に温かな御理解・御協力をいただいておりますこと、また、物心両面にわたる御支援をいただいておりますことに、心より感謝申し上げます。そして、この度の新型コロナウイルス感染症対応のための臨時休業及び学校再開に際しましても、生徒、教職員に力強く温かいエールをいただきました。「go for it! 今、苦難の時を皆で乗り越えよう!」。正門前に掲げられた横断幕や、一人一人にいただいたクリアファイルに込められた皆様の温かいお気持ちは、私たちを勇気づけ、学校再開の喜びをさらに大きなものにしてくださいました。皆様からいただいたエールをしっかりと受け止めながら、これまで以上に日々の学校生活を大切に、浜名高校全体で前を向いて進んでまいります。今年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

今年は、4月8日の入学式で全日制に369名、定時制に34名の新入生を迎え、全校生徒それぞれ1101名、99名の、合わせて1200名で学校生活をスタートいたしました。4月11日から5月24日までの臨時休業期間中は、生徒たちが学校から課された学習課題や、オンラインによる教員からの毎日のメッセージ等を受け止めながら、自宅での学習やトレーニング、健康・体力の保持等に誠実に取り組んでくれました。そして今、学校には、少しずつ日常が戻りつつあります。朝の凜とした雰囲気の中で始まる課外学習や朝読書。落ち着いた中にも真剣なまなざしに溢れた授業。放課後の、仲間と共に力を入れる部活動・生徒会活動。同じく放課後等の進路実現に向けて黙々と励む自主学習。そして、かけがえのない友との語らい。それら一つ一つに、さらには校内を行き交うさわやかな挨拶や笑顔に、改めて、教員であることの喜びと幸せを感じています。今後、部活動では、運動部員たちが、中止となった全国、県、西部大会に代わる各競技団体による代替試合に臨んでいきます。競技の性質上、実施できないバスケットボール部やバドミントン部を含め、部員たちは前を向き、それぞれが目標を立て直すとともに、3年生はこれまでの活動の成果と自分たちの部活動に対する姿勢を下級生にしっかり見せて引き継ぐと努力もしてくれています。「縁話」をテーマに開催するはずであった浜名祭も中止を余儀なくされましたが、7月末には校内のみで、文化部発表週間と称し、3年生の集大成となる文化部の活動の成果も見せてもらう予定です。新型コロナウイルス感染症拡大防止を常に意識し、教育活動の一つ一つを見直しながら、また、ICT活用を含む新しい学習方法や学校生活様式を確立しながら、全教職員で「学校教育ならではの学び」のための教育活動を充実させていきたいと考えています。

さて、お手元の資料には、昨年度、東海大会以上の部活動の記録と、進路結果を合わせて掲載していただきました。

部活動では、全日制の運動部で、陸上部、男女ソフトテニス部、剣道部、水泳部が東海大会に、また、そのうち、剣道部、水泳部が全国大会に出場してくれました。文化部では、吹奏楽部、写真部が静岡県代表として全国高等学校総合文化祭に出場、出品いたしました。また、写真部、美術部、書道部が、今年度の出場、出品を決めてくれました。東海大会以上のため、ここには掲載されていませんが、野球部、サッカー部、バドミントン部をはじめ、各部も頑張りと、文武両道で学校を引っ張ってくれています。定時制では、昨年度、バスケットボール部と陸上部が定時制通信制の全国大会に出場しました。バスケットボール部は、3年連続の全国大会出場です。同窓生の皆様には、横断幕をすぐに御用意いただき、また、会場での応援もいただき、感謝するばかりです。

進路実績については、この春の卒業生364名のうち、74%の267名が四年制大学、2%の7名が短期大学、14%の48名が専門学校に進学しました。就職は公務員の3名を含めて19名であり、進学準備、いわゆる浪人は21名です。四年制大学進学については、大学名を資料に掲載していただきましたが、国公立大学合格者は現役生41名、過年度生11名で、県内では、静岡大学8名、県立大学と静岡文化芸術大学にそれぞれ4名、浜松医大の看護に1名となっています。過年度生は、今年度、京都大学や横浜国立大学等に進学してくれました。京都大学進学者は、剣道部で全国大会に出場し、文武両道をリードしてくれた卒業生です。先輩たちに続く、今年度の現3年生は、共通テストを含め、新しい大学入学者選抜制度の初年度の学年となります。進路課を中心に慎重に熱心に指導を進め、就職者も含めて、一人一人の「志」の実現に尽力していきたいと考えています。

今こそ、「志はかなれこそ 若き日をかくこそ惜しめ」の高校生活が重要であると考えます。そのための教育活動を全職員、全生徒で実践してまいります。今後とも、御支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

部活動（令和元年度の主な記録）

■ 陸上競技部

東海高校総体陸上競技 女子円盤投 出場
東海高校新人陸上選手権 男子 110mハードル 2人準決勝進出、1500m 出場
女子円盤投、女子砲丸投 出場

■ 男子ソフトテニス部

東海高校総体ソフトテニス個人（1ペア） ベスト 16
東海選抜ソフトテニス大会個人（1ペア） 出場
東海シングルス選手権ソフトテニス個人 出場
国民体育大会東海ブロック大会個人 出場

■ 女子ソフトテニス部

東海高校総体ソフトテニス個人（1ペア） ベスト 16

■ 剣道部

東海高校総体剣道 男子団体 5位、男子個人 出場、女子団体 5位、女子個人 出場
国民体育大会剣道東海ブロック 男子個人 出場、女子個人 出場
東海選抜剣道大会 男子団体、女子団体 代表（大会中止）
全国高校剣道選抜 女子団体 代表（大会中止）

■ 水泳部

東海高校総体水泳 男子 100m・200m・400m（2位）・1500m（3位）自由形
100m（7位）・200m（3位）バタフライ
4×100mリレー（6位）、4×200mリレー（6位）
4×100mメドレーリレー 出場
女子 100m・200m自由形、100m（7位）・200m（1位）バタフライ
200m背泳ぎ（4位）、100m・200m（4位）平泳ぎ
4×100mリレー（8位）、4×200mリレー（5位）
4×100mメドレーリレー（4位）
全国高校総体水泳 男子 200m・400m・1500m自由形、100m・200mバタフライ
4×100mリレー、4×200mリレー、 出場
女子 100m・200m（B決勝3位）バタフライ、200m（B決勝3位）平泳ぎ、
200m背泳ぎ、200m個人メドレー、4×100mメドレーリレー
4×100mリレー、4×200mリレー 出場
国民体育大会 男子 100m自由形、200mバタフライ、4×200mリレー
4×100mメドレーリレー 出場
女子 200mバタフライ、200m平泳ぎ、出場
日本選手権水泳 男子 200mバタフライ 出場

■ 吹奏楽部

東海吹奏楽コンクール 金賞
全日本高等学校吹奏楽大会 in 横浜 審査委員長賞

中部日本個人重奏コンテスト本大会 オーボエ独奏 (大会中止)

2019 全国高校総合文化祭吹奏楽部門 文化連盟賞 (佐賀県)

■ 写真部

2019 全国高校総合文化祭出品 (佐賀県)

2020 全国高校総合文化祭出品予定 (高知県)

■ 美術部、書道部

2020 全国高校総合文化祭出品予定 (高知県)

■ 定時制バスケットボール部

全国高等学校定時制通信制体育大会バスケットボール 出場 (東京都)

■ 定時制陸上部

全国高等学校定時制通信制体育大会陸上競技 男子円盤投 出場、女子円盤投 出場

令和元年度進学結果

■ 国公立大合格者 52 人 (現役生 41 人、過年度生 11 人)

京都、金沢 3、横浜国立、静岡 8、浜松医科、北海道教育、弘前、秋田
茨城、富山、福井、山梨 2、三重 2、鳥取 2、島根、高知 2、琉球
静岡県立 4、静岡文化芸術 4、千葉保健医療、東京都立、新潟県立
富山県立、長野県立、長野 2、公立諏訪東京理科、都留文科、山梨県立
愛知県立芸術、島根県立、県立広島、高知県立

■ 私立大学主な合格大学 (のべ合格者数、過年度生を含む)

慶應義塾、早稲田、東京理科 2、青山学院、明治 2、立教、中央 5、法政 3
学習院、同志社 2、立命館 16、関西 4、関西学院、南山 7、芝浦工業 3
日本 12、専修 6、東洋 3、國學院、京都産業 7、龍谷 9、近畿 4、愛知 37
中京 17、名城 34、常葉 166、聖隷クリストファー 54

認第1号

令和元年度 事業報告

令和元年度の同窓会事業活動を次のとおり報告する。

1 総会

- (1) 令和元年6月9日(日)午後2時 尚友館
- ア 平成30年度事業報告について
 - イ 平成30年度各会計収支決算について
 - ウ 監査報告について
 - エ 令和元年度事業計画(案)について
 - オ 令和元年度各会計収支予算(案)について
 - カ 第12回大同窓会の案内について
 - キ 懇談会

2 正副会長会

- (1) 第1回 令和元年8月27日(火)午後7時 尚友館
- ア 激励金授与報告
 - イ 校旗作製について
 - ウ 尚友館浴室ボイラー改修について
 - エ 今後の予定
 - ・卒業生である県議会議員と定時制生徒の対談
 - ・定時制生徒への講演
 - ・全日制生徒に対する先輩と語る会の予定
 - オ 東京支部総会出席の報告
- (2) 第2回 令和元年10月1日(火)午後7時 尚友館
- ア 県議会議員と定時制生徒との対談報告
 - イ 校旗製作予定報告
 - ウ 今後の活動予定
 - ・定時制生徒への講演
 - ・先輩と語る会 講師選出
- (3) 第3回 令和元年11月14日(木)午後7時 尚友館
- ア 激励会報告 陸上部新人戦
 - イ 校旗作成完了報告 12月21日の終業式にお披露目する
 - ウ 今後の活動予定
 - ・定時制生徒への講演 11月22日

・先輩と語る会 11月21日

エ 尚友館の清掃の実施について

(4) 第4回 令和2年1月9日(木) 午後7時 尚友館

ア 報告事項

- ・全日制1年生徒たちへの先輩と語る会開催の報告
- ・定時制生徒たちへの講演(井口監事)
- ・校旗の授与

イ 尚友会の集い開催の検討

(5) 第5回 令和2年2月13日(水) 午後7時 尚友館

ア 激励金授与報告

イ 卒業式出席依頼

ウ 尚友会の集いについて

(6) 第6回 令和2年5月29日(木) 午後7時 ビートル ※尚友館閉鎖のため

ア 報告事項

- ・全日制、定時制卒業式報告
- ・全日制、定時制入会式報告
- ・全日制、定時制入学式報告
- ・「コロナに負けるな」激励横断幕贈呈式開催

イ 定期総会の開催の有無について

- ・時節柄、多数の会員が集まることは避けたいので中止とする
- ・その代わりとして、ホームページに掲載するとともに、正副会長会で審議し、内容については文書を郵送する

ウ 東京支部総会の延期

- ・秋に延期したいとの報告があった

エ その他

- ・学校は5月25日から再開予定で、部活動は6月からとのこと
- ・バックボードの補修・・・フレームが壊れたことから補修したい
- ・尚友館で、高校生将棋大会の開催打診(7月)

3 常任理事会

- ・5月に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため中止したい

4 各種事業及び学校・部活動への支援、協力事業

(1) 6月15日 東京支部総会に出席 5人

(2) 6月17日 陸上競技部 東海高等学校総合体育大会

女子 円盤投げ 1人

女子ソフトテニス 個人ペア

男子ソフトテニス 個人ペア

剣 道 男子団体、男子個人、女子団体、女子個人

※横断幕掲示

- (3) 7月10日 水泳部 東海大会（総体予選）男子、女子

※横断幕掲示

- (4) 7月18日 吹奏楽部 全国高等学校総合文化祭

写真部 //

定時制バスケットボール 全国高等学校定時制通信制体育大会

定時制陸上競技部 //

剣道部 国民体育大会剣道協議東海ブロック大会

※ 横断幕掲示

- (5) 7月23日 水泳部 全国総合体育大会（熊本）

- (6) 8月6日 吹奏楽部 横浜大会 ※横断幕掲示

- (7) 9月5日 剣道部女子全国大会、県道部男子東海大会

- (8) 9月19日 OB県議会議員と定時制生徒との対談（中沢・市川議員）

- (9) 11月21日 陸上部新人戦東海大会激励会 ※横断幕掲示

- (10) 11月21日 全日制1年生9クラスにて先輩と語る会開催（OB9人）

- (11) 11月22日 定時制生徒への講演（井口監事）

同窓会からうなぎ弁当を差し入れました

- (12) 12月21日 尚友館清掃

- (13) 新調校旗贈呈式 2学期終業式にて60年ぶりに新調した校旗を贈呈
（後援会と共同事業）

- (14) 2月29日 「尚友会の集」開催 浜北プラザホテルにて32人出席

- (15) 3月28日 全日制同窓会入会式 コロナ感染防止のため校内放送にて

- (16) 3月2日 全日制卒業式 ※感染防止のため会長のみ出席

- (17) 3月17日 定時制同窓会入会式・卒業式 ※感染防止のため会長のみ出席

- (18) 4月8日 全日制・定時制入学式 ※感染防止のため会長のみ出席

- (19) 5月2日 「コロナに負けるな」横断幕贈呈式

※中日新聞・静岡新聞に大きく報道された

- (20) 5月29日 同窓会会計監査

◎新型コロナウイルスによる感染防止のため、多くの大会・催しが中止になりました。

令和元年度 一般会計収支決算書

収入総額 6, 381, 012 円

支出総額 5, 233, 690 円

差引残額 1, 147, 322 円 (翌年度へ繰越)

収入の部

(単位 : 円)

科 目	予算額(A)	決算額(B)	比較増減(B)-(A)	摘 要
1 会 費	3,290,000	3,147,000	△ 143,000	
(1) 同窓会費	3,040,000	3,032,000	△ 8,000	同窓会入会金 (379名)
(2) 尚友会費	250,000	115,000	△ 135,000	尚友会の集い会費 (23名:規模縮小開催)
2 雑収入	300,500	600,007	299,507	第11回大同窓会実行委員会寄付金
3 繰入金	0	1,000,000	1,000,000	同窓会基金会計より繰入
4 繰越金	1,634,005	1,634,005	0	前年度繰越金
合 計	5,224,505	6,381,012	1,156,507	

*会費:全日制@8,000円×362名・定時制@8,000円×17名→3,032,000円

支出の部

(単位 : 円)

科 目	予算額(A)	決算額(B)	比較増減(A)-(B)	摘 要
1 事務費	80,000	6,770	73,230	
(1) 会議費	20,000	610	19,390	会合等経費
(2) 消耗品費	20,000	6,160	13,840	印刷(インクカートリッジ)
(3) 通信費	20,000	0	20,000	
(4) 旅 費	20,000	0	20,000	東京支部総会旅費 → 支部活動費へ計上
2 事業費	2,850,000	3,187,016	△ 337,016	
(1) 卒業記念品	500,000	362,278	137,722	卒業証書ファイル(379名)・皆勤賞(67名)
(2) 学校活動後援費	1,800,000	2,563,275	△ 763,275	部活動激励金・横断幕・校旗・給湯機
(3) 総会費	200,000	109,630	90,370	議案書・案内郵送料・懇談会 他
(4) 会員交流費	300,000	151,833	148,167	令和元年度尚友会の集い・案内郵送料
(5) 慶弔費	50,000	0	50,000	
3 名簿整理準備費	50,000	0	50,000	同窓会名簿会員管理基本料
4 ホームページ費	300,000	300,000	0	ホームページ運営管理費
5 大同窓会費	300,000	300,000	0	第12回大同窓会準備金
6 支部等活動費	500,000	417,758	82,242	東京支部活動費・個別同窓会補助金
7 雑 費	50,000	22,146	27,854	振込手数料他
8 予備費	94,505	0	94,505	
9 基金会計繰出金	1,000,000	1,000,000	0	基金会計への繰出
合 計	5,224,505	5,233,690	△ 9,185	

(科目間の流用を認める)

令和元年度 基金会計収支決算書

収入総額 10,959,457 円

支出総額 1,000,000 円

差引残額 9,959,457 円（翌年度へ繰越）

収入の部

（単位：円）

科 目	予算額(A)	決算額(B)	比較増減(B)-(A)	摘 要
1 繰越金	9,959,352	9,959,352	0	前年度繰越金
2 雑収入	3,000	105	△ 2,895	静岡銀行他預金利息
3 繰入金	1,000,000	1,000,000	0	一般会計から繰入
合 計	10,962,352	10,959,457	△ 2,895	

支出の部

（単位：円）

科 目	予算額(A)	決算額(B)	比較増減(A)-(B)	摘 要
1 学校活動後援費	10,000	0	10,000	
2 繰出金	10,000	1,000,000	△ 990,000	一般会計へ繰出
3 基金引当金	10,942,352	0	10,942,352	
合 計	10,962,352	1,000,000	9,962,352	

令和元年度 財 産 目 録

令和2年3月31日現在

(単位 : 円)

科	目	金	額
I	資産の部		
1	流動資産		
	(1) 現金 (手許現金)	0	
	(2) 預金		
	A 一般会計		
	・ 普通預金 (静岡銀行小林支店)	1,147,322	
	B 基金会計		
	・ 普通預金 (静岡銀行小林支店)	9,657,593	
	・ 定期預金 (とぴあ浜松北浜支店)	301,864	
	流動資産合計		11,106,779
2	固定資産		
	(1) 備品 垂れ幕1・団旗 (ステージ用) 1		
	団旗1・応援用ノボリ 5		
	木製書棚1・デジタルカメラ1	0	
	固定資産合計		0
	資産合計		11,106,779
II	負債の部		
1	流動負債	0	
	流動負債合計		0
2	固定負債	0	
	固定負債合計		0
	負債合計		0
	正味財産		11,106,779

監報第1号

監 査 結 果 報 告

浜名高等学校同窓会会則第14条第1項第9号の規定に基づき監査を実施したので、その結果を次のとおり報告する。

監 査 山 崎 育 子

監 査 井 口 恵 丞

記

1 監査を実施した日時及び場所

- (1) 日時 令和2年5月29日（金） 午後6時00分～
- (2) 場所 尚友館

2 監査対象期間

自 平成31年4月1日 ～ 至 令和2年3月31日

3 監査対象

- (1) 一般会計収支状況
- (2) 基金会計収支状況

4 監査の結果

会長から提出された出納関係諸帳簿、証拠書類等に基づき監査したところ、収入支出とも適正に処理されており、正確であることを認める。

第1号議案

令和2年度事業計画

1 基本方針

「コロナに打ち勝つ学校生活の支援」!

年度はじめから、新型コロナウイルス感染拡大防止の一環として、授業の開始が遅れました。このため、学力や部活動等において遅れや不足が出ています。学校では、夏休みの縮減や行事の縮小などで補うとのことですが、高校生活の楽しさが減ることは否めません。

同窓会では、可能な限り物心両面において支援を行い、生徒たちを支えてまいります。

2 事業計画

- (1) 部活動の活躍を激励する意味で、全国大会や東海大会等に出場する場合は、引き続き横断幕の掲示や激励金授与式を開催します。
- (2) 全日制1年生を対象に行っている「先輩と語る会」を本年度も新たな講師を選び実施してまいります。
- (3) ここ数年、定時制生徒を対象にした講演会や支援イベントを実施していますが、この内容を充実して実施してまいります。
- (4) 同窓生や学校関係者の情報交換や親睦を図るため、「尚友会の集い」を本年度も開催します。
- (5) 引き続き東京支部の活動を支援するための支援を行うとともに、卒業する生徒たちにも支部を紹介していくようにします。
- (6) 3年前から開始した、会員団体（クラス会・部OB会等）が行う催しに対する運営費の助成を、引き続き実施してまいります。
- (7) 同窓会の活動や学校の出来事を紹介するためホームページを開設していますが、これの充実をさらに図ってまいります。
- (8) 第12回大同窓会開催を来年迎えることとなるため、実行委員会の活動を支援するとともに、卒業生に広くPRしてまいります。
- (9) 新型コロナウイルスも終息に向かうと思いますが、再び広がらないよう、学校とも緊密に連絡を取り合い、必要な措置をとってまいります。
- (10) 老朽化してきた尚友館改修や資機材の更新について、後援会等とも協調して進めてまいります。

令和2年度 一般会計収支予算書（案）

収入総額 4, 437, 822 円

支出総額 4, 437, 822 円

差引残額 0 円

収入の部

（単位：円）

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘 要
1 会 費	3,290,000	3,290,000	0	
（1）同窓会費	3,040,000	3,040,000	0	同窓会入会金@8,000円×380名
（2）尚友会費	250,000	250,000	0	尚友会の集い会費（50名）
2 雑収入	500	300,500	△ 300,000	預金利息他
3 繰入金	0	0	0	
4 繰越金	1,147,322	1,634,005	△ 486,683	前年度繰越金
合 計	4,437,822	5,224,505	△ 786,683	

支出の部

（単位：円）

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘 要
1 事務費	80,000	80,000	0	
（1）会議費	20,000	20,000	0	正副会長会等経費
（2）消耗品費	20,000	20,000	0	事務用品・コピー紙 他
（3）通信費	20,000	20,000	0	郵送料 他
（4）旅 費	20,000	20,000	0	一般旅費
2 事業費	2,350,000	2,850,000	△ 500,000	
（1）卒業記念品	500,000	500,000	0	卒業証書ファイル・皆勤賞
（2）学校活動後援費	1,300,000	1,800,000	△ 500,000	東海大会出場他部活動激励金・横断幕
（3）総会費	200,000	200,000	0	議案書印刷代 他
（4）会員交流費	300,000	300,000	0	尚友会の集い
（5）慶弔費	50,000	50,000	0	慶弔諸費
3 名簿整理準備費	50,000	50,000	0	会員名簿管理基本料
4 ホームページ費	400,000	300,000	100,000	運営管理経費
5 大同窓会費	0	300,000	△ 300,000	
6 支部等活動費	500,000	500,000	0	東京支部活動費・個別同窓会補助金
7 雑 費	50,000	50,000	0	振込手数料他
8 予備費	7,822	94,505	△ 86,683	
9 基金会計繰出金	1,000,000	1,000,000	0	基金会計への繰出
合 計	4,437,822	5,224,505	△ 786,683	

（科目間の流用を認める）

令和2年度 基金会計収支予算書（案）

収入総額 10,962,457 円

支出総額 10,962,457 円

差引残額 0 円

収入の部

（単位：円）

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘 要
1 繰越金	9,959,457	9,959,352	105	前年度繰越金
2 雑収入	3,000	3,000	0	預金利息
3 繰入金	1,000,000	1,000,000	0	一般会計から繰入（前年同額）
合 計	10,962,457	10,962,352	105	

支出の部

（単位：円）

科 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘 要
1 学校活動後援費	10,000	10,000	0	
2 繰出金	10,000	10,000	0	
3 基金引当金	10,942,457	10,942,352	105	
合 計	10,962,457	10,962,352	105	

（科目間の流用を認める）

資料1

令和2年度 役員名簿

役 職 名	回 生	氏 名	回 生	氏 名
顧 問	校 長	三 科 真 弓	1 4	大 橋 敏 男
〃	6	松 本 禮 治	1 9	名 古 政 昭
〃	7	渥 美 光 市	2 2	河 合 利 治
〃	8	中 村 功	3 8	市 川 秀 之
〃	1 1	大 村 邦 男	3 9	中 沢 公 彦
〃	1 2	岡 本 賢 二	—	—
会 長	2 2	福 田 幹 男	—	—
副 会 長	2 4	大 石 勝 也	2 8	酒 出 明 敏
〃	2 4	古 木 正 明	3 0	西 村 功
〃	2 4	太 田 吉 彦	3 2	市 川 明 美
〃	2 5	大 城 澄 郎	3 6	三 上 英
〃	2 6	藤 本 多恵子	—	—
常 任 理 事	2 2	村 松 久 子	3 5	金 原 由 直
〃	2 5	内 山 ゆきゑ	3 5	伊 藤 通
〃	2 6	大 原 隆 弘	3 6	清 水 博 之
〃	2 7	太 田 清 美	3 6	小 杉 素 充
〃	2 8	山 下 詠 子	3 6	渥 美 誠
〃	2 8	小 杉 淳 子	3 6	太 田 清 幸
〃	2 9	佐 宗 朱 実	3 7	森 島 康 之
〃	3 0	河 野 延 之	3 7	馬 淵 吉 成
〃	3 0	神 谷 則 夫	3 7	船 川 積 典
〃	3 1	藤 原 史 子	3 7	平 田 勝 巳
〃	3 3	平 田 晴 久	3 7	小 杉 知 子
〃	3 3	吉 山 真 三	3 8	高 木 智 章
〃	3 3	岩 崎 英 浩	3 8	久 米 秀 幸
〃	3 4	森 和 秀	3 8	久 米 雅 之
〃	3 4	森 下 博 正	3 8	杉 本 芳 直
〃	3 4	北 野 明	3 9	大 城 秀 寛
〃	3 5	永 田 治	3 9	鈴 木 智 恵
監 査	3 7	山 崎 育 子	4 2	井 口 恵 丞

＝ 東京支部 ＝

相 談 役	2 7	小 杉 一 朗
支 部 長	3 5	林 典 彦
副 支 部 長	3 2	新 井 栄 司
副 支 部 長	4 8	内 山 桂 一
会 計	3 0	原 美佐子
監 査	3 2	高 野 恵美子

資料2

静岡県立浜名高等学校同窓会（尚友会）会則

第1章 名称、位置

第1条 本会は、静岡県立浜名高等学校同窓会（尚友会）と称する。

第2条 本会の事務所は、静岡県立浜名高等学校内（浜松市浜北区西美蘭2939の1）に置く。

第2章 目的

第3条 本会は、会員相互の親睦を厚くし、母校との関係を密にして母校の発展に寄与し、進んで社会奉仕の一端を負担しようとする。

第3章 会員

第4条 会員を分けて、正会員と客員の二種とする。

第5条 浜名高等学校及びその前身である北浜、笠井教場に於いて教育を受けたものを正会員とする。

第6条 前条の学校の現、旧職員を客員とする。

第4章 会計

第7条 本会の経費は、下記の収入をもってこれに充てる。

- (1) 入会金 正会員は、入会の際5,000円を納入するものとする。
- (2) 会費 正会員は、入会の際終身会費3,000円を納入する。
- (3) 基本金の利子
- (4) その他の収入

第8条 本会の財産の管理方法は、理事会において定め、会長がこれを管理する。現金はこれを郵便官庁、銀行、信用金庫、農協又は信託会社に預け入れ、もしくは信託し、或いは国債確実なる有価証券に換え保管する。

第9条 本会の資産は、第2章の目的達成のため以外に使用してはならない。

第10条 会計年度は、4月1日に始まり翌3月31日に終わる。

第11条 予算、決算は、理事会に附議するものとする。

第5章 事業

第12条 第2章目的を達成するために、下記の事業を行うことができる。

- (1) 会員の弔悼
- (2) 会誌、名簿を配布する。これについては、実費を徴収することができる。
- (3) 講習会、講演会
- (4) 母校に対する後援

第6章 役員

第13条 本会に、下記の役員を置く。

- (1) 会長 1名 正会員中から選出する。
- (2) 副会長 若干名 正会員中から選出する。

- (3) 顧問 若干名 学校長、歴代会長等から会長が依頼する。
- (4) 常任理事 50名以内 正会員中から選出する。
- (5) 理事 各学年若干名 正会員中より常任理事会で選出する。
- (6) 支部長 各支部1名 各支部中から選出する。
- (7) 副支部長 各支部2名 各支部中から選出する。
- (8) 幹事 各分会1名 各分会中から選出する。
- (9) 庶務 各分会3名 会員、客員中から会長が委嘱する。
- (10) 監査 2名 理事の中から会長が委嘱する。

第14条 役員の任務は、下記のとおりとする。

- (1) 会長は本会を代表し会務を総理し、会議の議長となる。
- (2) 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはこれを代行する。
- (3) 顧問は会長の諮問に応じ、会務に参画する。
- (4) 常任理事は常任理事会を組織し、会務の執行に当る。
- (5) 理事は理事会において会務につき協議する。
- (6) 支部長は支部を代表し、支部会を招集することができる。
- (7) 幹事は分会を代表し、分会と支部並びに常任理事との連絡を密にする。
- (8) 庶務は書記、会計の事務を組織し、会務の執行に当る。
- (9) 監査は会計の監査に当る。

第15条 役員の任期は2カ年とする。但し留任を妨げない。

第7章 会 議

第16条 本会は毎年1回総会を開く。又必要に応じて臨時総会を開くことができる。

第17条 下記事項は総会に附議するものとする。

- (1) 会務の報告
- (2) 予算、決算の報告
- (3) 役員の選任
- (4) 会則の変更
- (5) その他の重要事項

第18条 会議の議決は出席者の過半数の同意を必要とする。

第19条 常任理事会は本会の執行部として会長を助け業務を企画し、総会もしくは理事会の議を経てこれを実施する。

第20条 理事会は総会で委嘱された事項の処理、総会に提出する議案の作成その他必要事項を議決する。

第21条 本会は必要に応じて専門委員会を設けることができる。

第22条 本会は必要に応じて支部を置くことができる。

第8章

第23条 本会の会務を処置するため事務局を置き、有給の職員を置くことができる。

附 則

ア 分会、支部は次のとおりとする。

- ① 分会は学級、地区、クラブOB、職場、県人会等のいずれにて構成してもよい。
但し、重複は妨げない。
- ② 支部は地区分会の集合で構成する。

イ 本会の定期総会は経費節減のため開催通知を用いず、毎年6月第2日曜日に14時から
行うものとする。

ウ 平成21年6月14日改正

浜名高校同窓会役員等慶弔内規

浜名高校同窓会役員及び学校関係者の慶弔については、次のとおりとする。

なお、役員とは歴代会長及び現職の顧問、会長、副会長、監査、常任理事をいい、学校関係者とは校長及び副校長、教頭、事務長をいう。

- 1 結婚祝金等
本人が結婚した場合 10,000 円の祝金
祝電
- 2 弔慰金等
本人が死亡した場合 10,000 円の香料
弔電
- 3 見舞金
本人が病気又は傷害等で、15 日以上入院した場合 5,000 円
- 4 その他
この内規に定めのない事項は、正副会長会で協議し決定する。

この内規は、平成30年6月10日から適用する。